

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月

国名：日本

※今年度の年次報告書は担当者の名前やメールアドレスなどは伏せた形で冊子やHP上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 担当者

2. 学校概要

学校名 海星学院高等学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 050 - 0072
北海道室蘭市高砂町 3-7-7

E-mail : _____

Website : http://kaisei-gakuin.ed.jp/

児童生徒数：男子 66 名 女子 118 名 合計 184 名

児童・生徒の年齢 15 歳～ 18 歳

3. 実施活動（下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
 持続発展教育 (ESD) (国際理解 世界遺産 平和・人権 環境 気候変動
 生物多様性 エネルギー 防災 食育 伝統文化 その他 ()
 そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

【国際理解教育】

- ① アメリカ修学旅行<写真 01>
【期日】9/21～29
【場所】アメリカ合衆国ミネソタ州ミネアポリス
【内容】第2学年が参加。姉妹校 Benilde-St. Margaret's School や大学 College of Saint Benedict & Saint John's University との交流やホームステイの体験を通じて、相互の文化的な違いを学び、国際感覚を養う。
- ② 通訳ボランティア<写真 02>
【期日】10/2
【場所】室蘭市内
【内容】全校生徒が参加。外国からの大型客船（ダイヤモンド・プリンセス号）来航の際、市内観光をする乗客・乗員に通訳・観光補助。2005年度から継続実施。
- ③ 海外の高校生の留学受入と交流<新聞掲載 01>
・オーストラリア出身の女子高校生1名
【期日】4/18～1/7
【場所】室蘭市・登別市内
【内容】本校生徒宅にホームステイ、室蘭市内の小中学校訪問など
・アメリカ合衆国出身の女子高校生1名
【期日】7/3～17
【場所】室蘭市・登別市内
【内容】本校生徒宅にホームステイ、室蘭市内の小中学校訪問など
- ④ オーストラリア語学研修<写真 03>
【期日】11/12～12/11
【場所】オーストラリア 西オーストラリア州パース
【内容】女子生徒4名（第1学年3名、第2学年1名）が参加。Perth Institute of Business & Technology の Edith Cower University キャンパスにある語学学校にて、語学力向上と異文化理解を目的に実施。
- ⑤ 長期留学生の派遣<新聞掲載 02>
【期日】8/23より10ヶ月（派遣中）
【場所】アメリカ合衆国ミネソタ州ミネアポリス
【内容】第2学年女子生徒1名の参加。姉妹校 Benilde-St. Margaret's School での交流やホームステイの体験を通じて、相互の文化的な違いを学び、国際感覚を養う。

【平和・人権】

ユネスコの理念を鑑み、構造的暴力の観点から平和に対しての理解を深めることを目的に、児童労働の問題や世界的な教育格差の問題を取り上げ、持続可能社会を担う構成員としての資質を養う為に、次のプログラムを、外部の支援を受け、実施した。

① 勉強会及び学習発表会

- ・世界一大きな授業実施（教育協力 NGO ネットワーク主催）

【期日】4/22 ほか

【場所】本校ベネディクトホール

【内容】全校生徒が参加。途上国の教育問題や南北格差について理解を深める。その他、青年海外協力協会・開発教育協会・NGO が作成した教材を利用し、ワークショップを実施。児童労働・貧困についての理解を深める。＜新聞掲載 03＞

- ・中学生への発表

【期日】10/23

【場所】本校1日体験入学会会場

【内容】1日体験入学に来校した中学生を対象に、代表生徒（第1学年3名、第2学年3名）がユネスコスクールのブースを設け、これまでに学習した途上国の諸問題や本校の取り組みについて、ゲームを交えて発表。世界寺子屋運動についてもパネル展を開催。

② 世界寺子屋運動実施（日本ユネスコ協会連盟主催）

- ・カンボジア視察報告会

【期日】11/15 ほか

【場所】本校ベネディクトホールほか

【内容】全校生徒が参加本年度の支援対象国カンボジアを視察した本校教員による。同国の歴史・世界遺産・現状についての理解を深める。

- ・リーフレットコンテスト応募

【期日】11/15

【場所】本校 IT 教室ほか

【内容】有志生徒15名（第1学年7名、第2学年8名）が参加。運動協力を呼びかけるリーフレットを作成、うち2作品をリーフレットコンテストに応募した。＜新聞掲載 04, 05＞

- ・はがき回収協力

【期日】11/15～1/27

【場所】本校ほか

【内容】全校生徒が回収に協力。有志生徒らが作成した全リーフレットを、室蘭ユネスコ協会に寄贈。同協会がこれらを室蘭市内の各教育機関や協力企業に配布。また、同協会主催「ユネスコ世界遺産・寺子屋パネル展」（12/10～11）に代表生徒6名（第1学年1名、第2

学年 4 名，第 3 学年 1 名）が参加し，来場者に運動協力を呼びかけた。11,551 枚のハガキ，寄付金 8,646 円が集まり，同協会に寄贈，感謝状を頂く。＜新聞掲載 06, 07＞

・雪かきボランティア参加

【期日】1/21～

【場所】室蘭市内

【内容】有志生徒 8 名（第 1 学年 5 名，第 2 学年 3 名）が登録。はがき回収において，地域の多数の方々から協力を受け，地域のため何かしたいという生徒らの願いから始まる。室蘭社会福祉協議会の仲介で高齢者などの雪かき困難者宅 4 軒を担当。＜新聞掲載 08＞

・カンボジアへの応援メッセージ作成

【期日】1/24

【場所】本校

【内容】有志生徒 10 名（第 2 学年）が参加。2011 年秋に大洪水の被害を受けた同国の子どもに向けて応援メッセージを，クメール語や英語で作成。＜新聞掲載 09＞

③ 外部講演会参加

・高校生国際協力プログラム参加（JICA 主催）

【期日】11/27

【場所】JICA 札幌

【内容】代表女子生徒 3 名（第 1 学年 1 名，第 2 学年 2 名）参加。中南米日系人とのパネルトークやワークショップを通して，中南米の文化や日系社会の歴史とつながりについて理解を深め，他校生徒と交流。＜写真 04＞

・北海道カトリック学校生徒全道大会

【期日】11/26～27

【場所】藤女子大学 花川キャンパス

【内容】代表女子生徒 3 名（第 1 学年 1 名，第 2 学年 2 名）参加。藤女子大学 木村晶子准教授より，世界の貧困と紛争をテーマに講義を頂き，高校生として何ができるかを他校生徒とディスカッションした。＜写真 05＞

④ 第 2 回ユネスコスクール事業 ESD 国際交流プログラム参加

・プログラム参加

【期日】3/24～31

【場所】ドイツ・フランス

【内容】第 2 学年女子生徒 1 名がユネスコスクール高校生作文コンテストに入賞。ドイツでは現地ユネスコスクールの生徒に対し，本校の取り組みに関するプレゼンテーションを予定。＜新聞掲載 10＞

・他校生徒との交流会実施

【期日】1/26

【場所】北海道登別明日中等教育学校

【内容】第2学年女子生徒1名が参加。昨年同プログラムに参加した同中等教育学校生徒との交流会。同プログラムや各校の取り組みについて情報交換するとともに、ユネスコスクールの生徒間の連携について模索。

【環境教育・エネルギー教育】

室蘭工業大学と連携・交流し、様々な支援をいただきながら実施した教育プログラム。ユネスコの理念やESDの観点に照らして実施。

① 「サイエンスパートナーシッププロジェクト」(科学技術振興機構)

・エネルギー効率に関する実験

【期日】1/26~27

【場所】本校化学室

【内容】第1学年が参加。永野宏治教授の協力による。実験を通じ、地球温暖化やエネルギー問題を考察した。エネルギー有効利用の重要性を学ぶ。<新聞掲載11>

・原子力エネルギーについての講義

【期日】2/9

【場所】本校300番教室

【内容】第1学年が参加。岸本弘立准教授による。原子力発電の基本構造や放射線による生物への影響について学ぶ。<新聞掲載12>

【その他】

① 東日本大震災への支援活動

・東日本大震災ユネスコスクールESD支援募金

【期日】4/9~6/11

【場所】本校

【内容】全校生徒が参加。校内募金活動の実施。総額234,849円が集まり、同募金として(財)ユネスコ・アジア文化センターに送付。

・宮城県石巻市立住吉中学校への支援

【期日】6/6

【場所】宮城県石巻市

【内容】文部科学省「東日本大震災 子どもの学び支援ポータルサイト」を通じて、支援要請のあった柔道畳24枚を同中学校へ貸与。

・復興支援イベントへの参加

【期日】10/1

【場所】本校ベネディクトホール

【内容】軽音楽部第1学年生徒11名が室蘭ユネスコ協会主催「国際音楽の日記念 ユネスコミュージックフェスティバル」に参加。市民が多数来場し、チケットの収益が被災地小学校復興の義援金にあて

以下につきましては、該当する取組を実施した場合のみ
記載をお願いします。

■ 実施テーマにおける教材の工夫や授業手法における工夫。

日本ユネスコ協会連盟をはじめ、JICA などの教員研修会にて紹介された教材（青年海外協力協会、開発教育学会が作成）を本校生徒向けに修正して実施した。また、現地視察（カンボジア・気仙沼）を実施した教員が、写真などを題材にパワーポイントを利用したプレゼンを行うなどした。

■ 実施テーマに関連した研究旅行の実施。

4. 活動概要【国際理解教育】①④⑤参照

□ 他国の学校との交流や相互協力の実施。（交流した国、学校名の記載もお願いします。特に相手校が ASP ネットワークに参加している場合は、その旨も記載願います。）

■ 国連やユネスコが取り組む国際的な記念日、国際年、国際的な10年を記念する取組の実施。（国際母語の日、国際天文年、識字の10年など）

① 「世界女性の日」100周年…4. 活動概要【平和・人権】①参照

② 国際識字の10年…4. 活動概要【平和・人権】①②参照